

サーベイランスシステムを導入

感染症対策で地域貢献に広がり

大流行が危惧される新型インフルエンザ。出現後の感染拡大を防ぐためには、その前段階として各地域での患者の発生状況を早く正確に把握することが不可欠となる。札幌市郊外にあるミズキ薬局は今年3月、国立感染症研究所とEMシステムズが2年前から共同で開発を進め、昨秋から運用を開始したサーベイランスシステムを導入。抗インフルエンザ薬などを含む処方せん枚数の変動を

全国の導入薬局や行政機関で共有化し、近隣地域におけるインフルエンザなどの発生状況をWeb上で把握できる体制を整備した。現在は試行段階で、導入薬局が少なくデータの精度に課題が残るが、今後、各地域でも導入薬局は増えていく予定で、それが実現すれば、新型インフルエンザなど感染症対策に有用なシステムになると期待されている。

など、細かく対応している」と有澤氏。依頼を受けて自宅での服薬管理を担うこともある。

い、その上で同システムを導入した薬局がデータの収集の対象になる。病院を対象に情報を収集する場合には比べ、現場に作業の負担を強いのが特徴の一つ。セキュリティを確保したインターネット回線で全国の薬局とデータをやりとりできる同社の「インターネットデータセンター」(IDC)に蓄積された情報をもとに解析を行うため、各薬局が手作業で情報を上げる必要はなく、全ての作業は自動的に行われる。

このシステムでインフルエンザの流行を早期に探知できれば、患者や顧客など地域住民に対し、「注意喚起と情報提供を行える」と有澤氏。ウイルス対策マスクの提供や消毒、手洗いなど感染予防について薬局が重要な役割を發揮できるという。

ミズキ薬局(北海道)

今月7〜9日に開かれた北海道洞爺湖サミットは、テロ抑止の警戒態勢が敷かれた中、無事に閉幕した。

の死体から高病原性鳥インフルエンザウイルスが分離されるなど、新型インフルエンザの発生の可能性を否定しきれない状況において、それを早期に検出する体制の整備に協力した。

小樽市、千歳市、室蘭市などの約30薬局がサーベイランスシステムを導入した。北海道で5月に野鳥

そのうちの1つ、ミズキ薬局がこのシステムを導入したのは今年の3



有澤氏

するほぼ全ての患者や顧客の住所を把握している。相談や配達で薬剤師が自宅まで出向くことが多いからだ。

「家に虫が出ているから殺虫剤を欲しいと言われる場合に、それが何の虫なのか、実際に足を運んで見に行く

処方の変動を集計・解析 現場の作業負担はゼロ

し、地域的な感染症の発生を早期に探知するものだ。EMシステムのレポートコンピュータを使

「まだ分母が少ないから、ある程度の目安になるところまではいっていない。発展段階だ」と有澤氏。しかし、システムのコンセプトや方向性は間違っていないと、誰かが口火を切って広げていかなければ」と強調する。

現在はまだ試験的運用の段階で導入薬局が少なく、データ量が乏しいのが課題だ。

課題は母数の拡大

「病院に調査を依頼しても、リアルタイムでデータを送信する作業は大変だろう。分業率は既に約6割に達している。それを考えると、このシステムの着眼点はい」と評価し

「このほか、遠方の病院を受診しても処方せんは自宅近くの薬局に持ち込む傾向が強まってきたことから、「各地域における感染症の発生状況を、より正確に反映できるのではないかと有澤氏は指摘する。」

「病院に調査を依頼しても、リアルタイムでデータを送信する作業は大変だろう。分業率は既に約6割に達している。それを考えると、このシステムの着眼点はい」と評価し



郵便局も入居するビル1階に店を構えるミズキ薬局は、地域に根ざした活動を35年前から展開してきた

地域に根ざし活動 貫く開局の理念

35年前に現地で開局した同薬局は、社会への貢献を強く意識した活動を展開してきた。地域に根ざした薬局として、来局

【管理者2】 SvMaster 2008年06月11日(水) 表示日付: 2008年06月11日 変更

での流行検知状況 兵庫西エリアの流行(一致度) (4薬局)

薬品名	区分	アラートレベル	患者数	100%	75%	50%	25%
解熱鎮痛剤	-	○○○	18	25			
総合感冒薬	-	○○○	0	17			
抗生物質全般	-	○○○	3	8			
抗インフルエンザ薬(タミフル・ルンザ)	0歳~15歳	○○○	0	0			
	16歳~64歳	○○○	0	0			
	65歳~	○○○	0	0			
アスコピル錠剤+塩酸バラシクロピル錠剤	0歳~15歳	○○○	0	0			
	16歳~64歳	●●●	1	25			
	65歳~	●●●	1	17			

参加(解除)薬局: 4 / 45 薬局 ログアウト

自薬局の近隣地域における感染症(処方変動)の状況をWeb上で閲覧できる(画像は兵庫西エリアの例)

「病院に調査を依頼しても、リアルタイムでデータを送信する作業は大変だろう。分業率は既に約6割に達している。それを考えると、このシステムの着眼点はい」と評価し

「まだ分母が少ないから、ある程度の目安になるところまではいっていない。発展段階だ」と有澤氏。しかし、システムのコンセプトや方向性は間違っていないと、誰かが口火を切って広げていかなければ」と強調する。

「まだ分母が少ないから、ある程度の目安になるところまではいっていない。発展段階だ」と有澤氏。しかし、システムのコンセプトや方向性は間違っていないと、誰かが口火を切って広げていかなければ」と強調する。